

三股図書館 としょかんだより

YA版 No.5 2023.2.1



□ 開館時間 □
 火・水・金・土曜日
 10:00~18:00
 木曜日
 10:00~20:30
 日曜日
 10:00~17:00

□ 2月の休館日 □
 毎週月曜日
 11日(土)、15日(水)
 23日(木)



■ 2023若い人に贈る読書のすすめ ■

「若い人に贈る読書のすすめ」は、成人式・卒業式など新たな人生の一步を踏み出す若い人にぜひ読んでもらいたい本を紹介する運動です。図書館では読書推進運動協議会が作成したリーフレットを配布しています。ここではおすすめ本の一部を紹介します。

『香君 上・下』 上橋菜穂子・著

【上のあらすじ】

奇跡の稲、オアレ稲をもたらし、香りで万象を知るといふ活神<香君>の庇護のもと、帝国は発展を続けてきた。あるとき、オアレ稲に虫害が発生する。人並外れた嗅覚をもつ少女アイシャは、オアレ稲に秘められた謎と向き合い…。

【下のあらすじ】

オアレ稲に依存してきた帝国に危機が訪れる。次々と災いの連鎖が起きていくなかで、アイシャは、仲間たちとともに、必死に飢餓を回避しようとするのだが…。異郷から風が吹くとき、アイシャたちの運命は大きく動きはじめる。



『その本は』 又吉直樹、ヨシタケシンスケ・著

本の好きな王様が、2人の男を城に呼び、「世界中をまわって「めずらしい本」の話を聞いてきてくれ」と言った。旅に出た2人の男は…。又吉直樹とヨシタケシンスケによる、笑えて泣けて胸を打たれる、本にまつわる物語。



『「コミュ障」のための社会学』 岩本 茂樹・著

異文化理解のカギは生育歴の理解、自分だけのストーリーを生きる、敵のおかげで自分を知る、違いがあるから面白い…。視野を広げて「コミュニケーションの壁」を取り払うポイントを、社会学の視点で解説する。



『やりたいことが見つからない君へ』 坪田 信貴・著

進むべき道がわからないと悩む若者へ送る「人生戦略」。多くの子どもたちの進路を見守ってきた塾講師が、やる気の出し方や、10代の過ごし方、本当の自分の見つけ方、失敗との向き合い方などを伝える。



出典：図書館流通センターMARC



リーフレットに掲載されている本は、三股図書館で全て所蔵しています。現在、館内検索機の近くで展示中です。気になる本があったら是非借りに来てください！

リーフレットはご自由にお持ち帰りください

